

🇯🇵 みんなでお出迎えしましょう

令和
7年

6月

第六十三回神宮式年遷宮

内宮

川曳

かわびき

御樋代木奉迎奉曳

みひしろぎ

ほうげい ほうえい

外宮

陸曳

おかびき

ご神木

みひしろぎ

御樋代木とは

御遷宮にあたり、ご用材を御杣山から正式に伐り始めるお祭り

「御杣始祭（みそまはじめさい）」

最初に伐採される檜のご神木こそが
お遷りされるご神体をお納めする

御器「御樋代（みひしろ）」の御料材となる

御樋代木です。御遷宮において最も鄭重に扱
われる特別な役木です。

伐り出された長野県、岐阜県、そして愛知県から

三重県と各地で盛大な奉迎を受け、神宮へ奉搬される御樋代木。

神宮御鎮座の地に住む伊勢人として、真心込めてお迎えし奉曳します。

沿道の皆様も第63回神宮式年遷宮行事の始まりを
ご一緒にお祝いください。

6月8日 日 陸曳 のぼせ車

陸曳 外宮北御門～度会橋東詰

9日 月 内宮・御樋代木 奉迎奉曳

奉迎 宇治橋前広場 川曳奉曳 五十鈴川浦田橋～内宮神域

10日 火 外宮・御樋代木 奉迎奉曳

奉迎 度会橋東詰広場 陸曳奉曳 度会橋～外宮北御門

●実施時間・コース等、詳細は中面をご覧ください。

内宮・川曳

6月

9日 月

12:50 奉迎式典

14:15~17:00 御樋代木奉曳

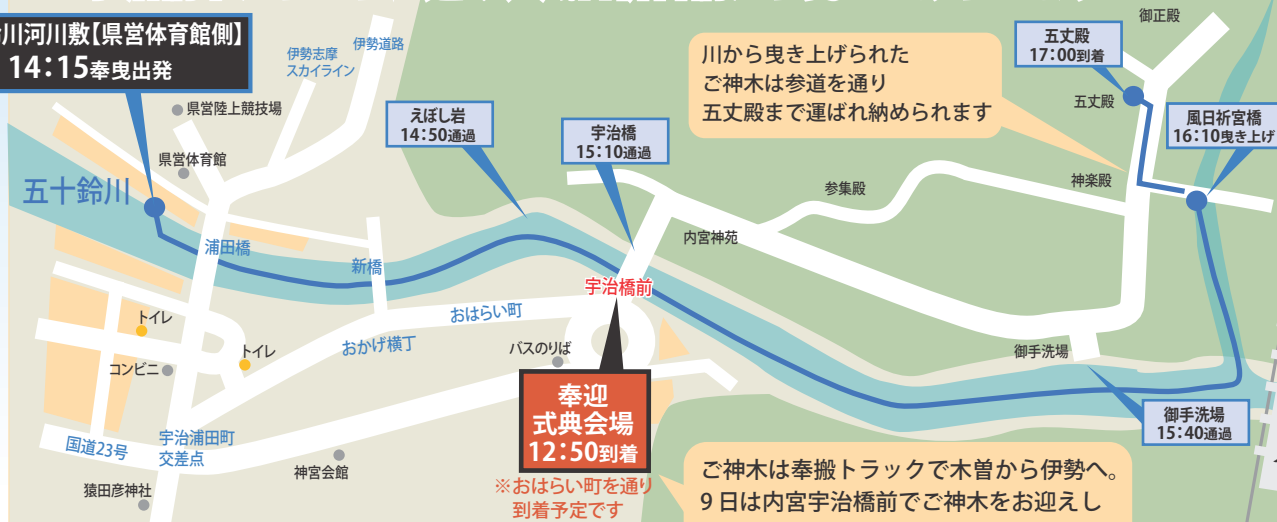
川 かわ
曳 びき

内宮・川曳は神宮による
官曳（かんびき）です。
清流 五十鈴川を遡ります



三台の木ぞりにご神木を載せ、浦田橋から五十鈴川をのぼり内宮へ
宇治橋下からさらに進み、風日祈宮橋から曳き上げられます

五十鈴川河川敷【県営体育館側】
14:15奉曳出発



外宮・陸曳

6月

10日 火

10:40 奉迎式典

13:30 御樋代木奉曳出発



10日は度会橋東詰広場でお迎えして奉迎式典を行います

祝砲

到着予定時間
10:40

奉迎式典 度会橋東詰会場にて
ご神木を盛大にお迎えし奉曳車に積み替えます

度会橋東詰広場
13:30奉曳出発

※出発式は
13:00からです

県道鳥羽松阪線中島交差点
13:45通過

度会橋東詰
度会橋

奉迎式典会場
10:40到着

祝砲

宮川

県道伊勢南島線

中島小学校

浦口南交差点

うらのし商店街

筋向橋

宮町交差点前 休憩

14:40到着 15:05出発

伊勢図書館

福祉センター

祝砲

外宮北御門

15:30到着

外宮

観光サービスセンター

伊勢市役所

御幸道路

バス乗り場

外宮

祝御樋代木

ご神木を載せた1台の車を
地元奉曳代表者により奉曳します。
外宮神域内は神職による官曳となります

宮川から外宮へと
奉祝の心をひとつにして奉曳します

インヤー!

陸 お
曳 か
びき

祝砲 当日10:40宮川 奉迎、15:30外宮 到着の時間に祝砲(花火)が揚がります
※近隣の皆様には大きい音となりますので、予めご承知おきいただきますようお願いいたします

6月8日 のぼせ車、6月10日 御樋代木奉曳コース 通行【迂回】のご協力のお願い



迷惑駐車は厳禁です。奉曳コースの違法・迷惑駐車排除にご協力をお願いします

第六十三回 神宮式年遷宮

令和の
お木曳

令和八年 御木曳初式（役木曳） 四月中旬
令和八年 第一次 お木曳行事 五月上旬〜八月上旬
令和九年 第二次 お木曳行事 五月上旬〜八月上旬

知るほどに興味深い
お木曳の基礎知識

お木曳は伊勢伝統の民俗行事

神宮の御遷宮行事の一環として550年以上前より伝統を継いできた「お木曳」。神宮にご用材を運ぶ奉仕作業が歴史を経て民俗行事となりました。

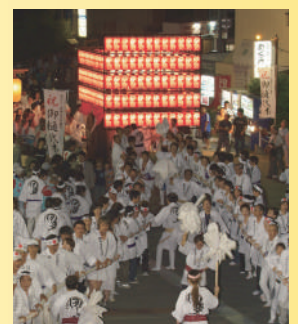
川曳（かわびき）・陸曳（おかびき）

伊勢市全域、市をあげて実施されるお木曳ですが地域や伝統によって川曳・陸曳に分かれます。

かつてご用材は御杣山（みそまやま・御遷宮のために定められた山林）から、水運を使い伊勢へと運ばれました。川曳は、木ぞりで五十鈴川の中を奉曳。陸曳は宮川から外宮まで、ご用材を載せた伊勢独特の重厚な奉曳車で約3キロの道のりを奉曳します。

宮川へと、飾り車を曳いていく 「のぼせ車（ぐるま）」

宮川から始まる陸曳。
昔はどの町も在所から車を曳いて出発地まで運びました。まだご用材を積んでいない車には提灯や飾りを施して、暗くなれば明かりを灯しお祭りの山車のように道中を練っていきました。それが「のぼせ車」です。本曳とは違う賑やかさ、楽しさがあります。



平成17年
御樋代木奉曳ののぼせ車の様子



伊勢御遷宮委員会